

キッズのルール

2023.01

【共通ルール】

1. ピッチャー【男性】とキャッチャー【性別問わず】は攻撃側が行い、ピッチャーは下投げとします。投手間は学年によって異なります。
投手間 年長：6メートル 1.2年生：8メートル
※捕手はボールを捕球するだけです。キャッチャー道具は不要です。
※ピッチャー、キャッチャーは守備をしている人ではないため、ボールをとってははいけません。すべて守備についている選手たちにとらせます。
2. 各試合は決められた最低人数で表裏交代となります。
ex：最低人数が6人の試合で1チーム10人いる場合。
1回：1番から6番までが攻撃をし、守備も1番から5番の子が入ります。
2回：7番から2番までが攻撃をし、守備は7番から2番の子が行います。
3. 1試合、4回裏まで又は50分を過ぎて新しいイニングには入りません。
規定時間(規定回数)内で、勝敗がつかない場合は、延長に入ります。
延長は1イニング3人で交代とし、勝敗が確定した時点で試合終了となります。

【守備側のルール】

1. ファーストは【女性(母)】とし、決められた捕球範囲の中から出てはいけません。
捕球範囲：ファーストベースより前後1.5メートル、内野側1.5メートル、ファールゾーン側1.5メートルとします。
ファール側は、補助する女性(母)をおき、その方が補助をします。
子供たちがカバーとしてファールゾーンへ来ることも可
2. 内野ゾーンを設け、バッターが打ってから内野ゾーンへ入ることができます。
内野ゾーン：内野低位置より前に出すぎて打ったボールが直撃しないためのゾーンです。
3. 選手たちの守る範囲は内野のみでも可
4. 打ったボールはすべて一塁に戻します。
選手がボールを持ったまま、ファーストを踏んでもアウトにはしません。
必ずファーストの女性へ戻してください。
5. ヒット、フライに問わず打った後は必ず1塁まで駆け抜けます。
フライの場合でもかごにバットが入り、一塁まで駆け抜けたら1点となります。
6. ファーストの女性は捕球範囲内に転がってきたボール(フライ含む)はとって構いません。

【攻撃側のルール】

1. 三振あり(ファールは通常のルールと同様1ストライクとなります)
※年長、1年生は4ストライクアウト 2年生は3ストライクアウト
ファールの数え方として1ファール1ストライク、2ファール2ストライク、3ファールはカウントせず、空振りするまで2ファールの時は2ストライクのままとし、空振りした場合、3ストライクとします。
ストライク範囲内のボール4球目以降は通常通りストライクとしキャッチャーが判定を行います。
・1~3球はストライク範囲内で見逃ししてもカウントせず、4球目からストライクカウント対象とする
2. フォアボールはありません。
3. 打った後、バットは所定の位置にかごを置いておくので、その中に入れたら1点入ります。かごから出てしまったら0点です。かごの上にバットが両方ともあった場合は1点としますが、片側でも地面についた場合は0点となります。
4. 打ったボールがファーストに到着するまでに、選手がどのベースまで到着しているかにより点数が変わります。塁に残ることはせず、到着時点の点数で競います。
1塁1点、2塁2点、3塁3点、ホーム4点、かごまでしっかりと入れられたら最高5点です。

【審判について】

1. 両チームの代表者が1名ずつ守備を交代で行います。
守備をしているチームが審判をお願い致します。
2. 審判の位置は1ヶ所に固定し、1塁側のネクストサークル側に審判の場所を設けます
そちらでファール・フェアの判定、点数のカウントを大きな声でお願いします。
(試合進行役の役員が補助的役割でカウントを言う場合もあります)
3. きわどいセーフ・アウトの判定はあまめの判定をお願いいたします。
(ア) スコアの記入は、得点ボードに近いベンチ側の保護者の方が記入をお願い致します。
(イ) 試合の進行役として運営スタッフが必ず1名は常駐します。
判定が難しい場合はご確認ください。

【ベンチ内保護者の人数】

1. 通常の試合同様6名までとします。
ベンチの保護者は選手をネクストサークルへ誘導、ベンチ内の選手のお世話などを行います。
2. 保護者席は1塁側コーチャーボックスの斜め後ろに設けます。